



TAKE OFF press

TAKEO Future Frontier

【校是】 質実剛健 報恩感謝

佐賀県立武雄高等学校

校長通信 NO.15 R5.11.01

文責 学校長 下村 昌弘

E-Mail shimomura-masahiro@education.saga.jp



学校 HP

“探究の4つのステップで一番大事なのはどれ？” —「深掘り」の意味—

10月になって“探究”が本格化してきました。総合的な探究の時間は教科横断的な力を育成する最大のチャンスです！

探究には4つのステップ【課題の設定】・【情報の収集】・【整理・分析】・【まとめ・表現】があります。先日ある生徒さんに「探究の4つのステップで一番大事なのはどれだと思う？」と尋ねました。しばし考えた後「整理・分析でしょうか」という答え。なるほど。

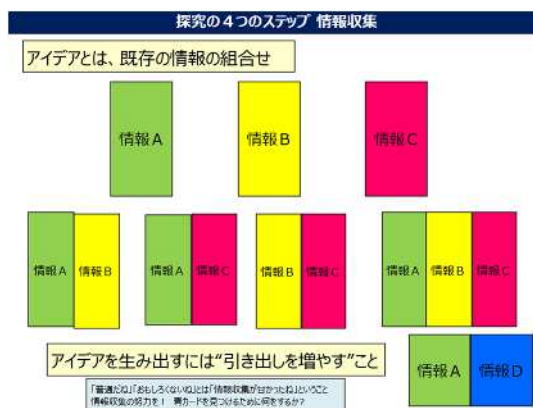
ちょっと意地悪な質問だったかもしれませんが。正解はありません。どのステップも大事です。しかし、私はあえて「どれ？」と聞かれたら迷わず「情報収集」と答えます。

これから Society5.0 の時代。その時代を生き抜く皆さんには“レゴブロック型”の学力が必要です。“色”も“形”も“大きさ”も違う様々な多様な価値観を組み合わせる新しい価値観を創り上げて問題解決を図る力です。しかし、実は新しい価値観というものは何の脈絡もなく突然フェニックスのごとく立ち現われるものではありません。それは既存の知識と既存の知識の組み合わせによって生み出されるものなのです。

例えば、数年前に爆発的にヒットしたピコ太郎氏の「ペンパイナッポーアッポーペン」。パイナップルとペンとアップルの連結。つまらないけど実に斬新なアイデアです。

そこで右の図を見てください。3つの情報 A・B・C があったとします。そこから生み出される新たなアイデアの組み合わせは何通りでしょう？ 答えは図に示した4通り。でもその4つの組み合わせなんて誰かがとっくに考え出せるものです。だから、ネットでいくつか調べてそれをピックアップしても「あ〜ね」で終わってしまうのです。

そうした中、誰かが新しい情報 D を持ってきたとします。すると、、、「気が付かなかった！」「斬新だ！」ということになるわけです。



だから私は「探究は情報収集が大事」と考えるのです。情報収集がうまくいけば探究は8割うまくいきます。ネットの情報は玉石混交。あらかた体系的に把握している人はネットの情報の真偽や軽重はある程度判断できます。しかしいきなりネットに頼る人は何が“玉”で何が“石”か分からず、結果「なんだかな〜」のレベルで終わってしまうのです。

まずはそのテーマに関する新書を読んで体系化された概念を理解する。そしてその本に出ているデータの原典に当たる。人口の変化や食糧の自給率の変化など。そしてそれが本当に事実として起こっているのか地域をフィールドにして調査・インタビュー・実験をす

る。このとき地域の大人との交流が生まれます。これが貴い。これが学びの熱量です！

「深掘り」は情報収集に裏打ちされます。情報収集をしながら課題設定を修正すること
もよくある話です。また、情報収集の集積によって整理・分析の方向性が見えてきます。

まとめ・表現で上手にプレゼン資料を作成できる人がいます。それはそれで一つの能力
ですが中身のない華やかプレゼンはどこか空々しいものです。くだんの生徒さんが「大事
なのはまとめ・表現」と言わなかったことに私は少し安ど感を持ったところです！

堂々の全国2位 一かごしま国体少年女子弓道一

10月15日、「燃ゆる感動かごしま国体」弓道競技に野中理
加さん（2年）と荒川花歩さん（2年）が鹿島高校の2名と佐
賀県合同チームとして出場し、見事全国2位に輝きました。



この大会は来年佐賀で開催される国スポの前哨戦ともいえ
る大切な大会でした。そこで結果を出せたことはとても素晴ら
しいことです！準決勝で優勝候補筆頭の鹿児島県を9-6で破り、準決勝は福岡県に1本差
で勝ち抜き、そして最後の決勝では福島県に1本差で敗退というまさに手に汗握る展開。

野中さんは「まだ優勝するレベルではなかったということ。また一からやり直します」
と既に次を見据えていました。また帯同した荒川さんも「大観衆の前で果たして自分があ
の場に立っていたらと思うと胸が押しつぶされそうでした。これからは全国の舞台をイメ
ージしながら鍛えたい」と抱負を語ってくれました。

来年は国スポと名称を変えた第1回目の記念すべき大会が佐賀で開催されます。歴史の
節目に立ち会える喜びとともにたくさんの学びを経験してほしいものです。

総合型・学校推薦型入試が本格化 一面接試験にどう備えるか



多くの大学・学部で総合型・学校推薦型の入試が始まりました。面接・小
論・プレゼンテーションで合否が決まることが多い入試形態です。今こそ探究で培った学
問内容やコンピテンシー（価値観や態度・行動）を大いに生かしてほしいところです。

ところで面接について。面接では対面でリアルに自分の考えを的確に言語化することが
求められます。高校入試のようにあらかじめ回答を準備しておいてそれを読み上げるよう
なレベルでは対応できません。即刻自分の考えたことを的確に述べなければなりません。

もちろん一定の想定問答を作成しておくことは必須ですが、自分の考えを的確に言葉に
することは一朝一夕にできるものではありません。ですから意識的な備えが必要です。

そこで提案。毎時間、授業後にその時間の振り返りをPCに打ち込む、あるいはノート
の片隅にメモするのはどうでしょう。その時間感じたこと考えたことを言語化するわけ
です。これを繰り返すと課題発表などでメモを見ずに自分の考えを話せるようになります。

日々の取組が大切です。日ごろから自分の考えを言語化する意識を高めましょう。

【当面の主な予定（11月前半）】

- 1日（水）中高授業参観（9日まで）
- 3日（金）1・2年学基礎診断（2年は4日も）
3年個別大学模試（5日まで）
- 6日（月）月セミ 7日（火）クラス読書会
- 10日（金）漢字検定
- 11日（土）3年個別大学模試（12日も）
- 13日（月）月セミ 14日（火）エイズ講演（1年）

（閑人閑話）金木犀。木を
見るより先に香りが漂っ
てくる▼よい香りは人を
幸せにしてくれる。「彼女
とすれ違ったときふわり
と柔らかな香りがした」
と書いてあれば何かその
人にとつて好ましい人だと
分かる▼「自分にとつて
ましい香りは自分にとつて
必要な香りだ」と何かで
読んだ。今自分が好きな
香りは自分がそれを求め
ているのだ▼秋深し。香
りを契機に物思いにふけ
るのもいい。（昌）